

【HA】口腔健康支援法		歯科衛生学科		3年前期			
		1単位	必修	実習	45時間		
教員	阿尾 敦子						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	歯科衛生業務を展開するためには、対象者の身近な問題や抱える問題を見つけ出し、エビデンスに基づいて解決する能力が必要です。理論的思考ツールである歯科衛生過程を活用して患者個々のニーズに合わせたケアを提供する力を養います。						
授業方法	歯科衛生過程の流れに沿いながら、症例を使って講義と演習を進めていく授業です。グループ演習では、歯科衛生過程を活用し、活発な討議をおこなう。						
到達目標	知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生過程の考え方と構成が理解できる。</li> <li>・歯科衛生過程の流れを理論的に説明できる。</li> </ul>			◎		
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習をとおしてアセスメント、歯科衛生診断、計画立案、実施、評価までを検討することができる。</li> </ul>			◎		
	関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら問題点を解決する意欲を持ち、積極的に取り組める。</li> </ul>			△		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	定期試験		40	-	-	-	40
	演習		-	40	-	-	40
	課題		-	10	-	-	10
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		40	50	-	10	100
評価の特記事項	忘れ物等は受講態度から減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	『よくわかる歯科衛生過程』医歯薬出版(3,456円) ISBN:978-4-263-42205-2 『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版(8,208円) ISBN:978-4-263-42826-9						
参考書・教材	必要な資料は配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	「歯科衛生過程とは」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業ガイダンス</li> <li>・歯科衛生過程の考え方とその意義を理解する</li> <li>・歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデルを理解する</li> </ul> [準備・課題] 歯科衛生過程の概要をまとめる(2h)						
2	「歯科衛生過程の流れの理解」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントの構成要素と流れを理解する</li> </ul> [準備・課題] 歯科衛生過程の流れをまとめる(2h)						
3	「歯科衛生アセスメント1」 *症例検討① <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の確認</li> <li>・情報の収集 (Sデータ、Oデータの抽出)</li> </ul>						
4	「歯科衛生アセスメント2」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の整理① (Sデータ、Oデータの分類)</li> </ul>						
5	「歯科衛生アセスメント3」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の整理② (Sデータ、Oデータの分類 *グループ討論)</li> </ul>						
6	「歯科衛生アセスメント4」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の分析 (歯科衛生診断シートの作成)</li> </ul>						
7	「歯科衛生診断1」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生診断文の作成 (診断句、原因句について)</li> </ul>						
8	「歯科衛生診断2」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生診断シートの完成 *グループ討論</li> </ul>						
9	「歯科衛生計画立案」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介入計画の立案 (長期目標と短期目標の設定)</li> </ul>						
10	「歯科衛生介入」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・POSとPOMRの考え方について理解する</li> <li>・業務記録 (歯科衛生介入記録) の作成</li> </ul>						
11	「歯科衛生過程 まとめ1」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生過程 (アセスメント、歯科衛生診断、計画立案) の一連の流れを確認する</li> </ul>						
12	「歯科衛生過程 まとめ2」 *症例検討② <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生過程 (アセスメント、歯科衛生診断、計画立案) の一連の流れを演習を通して理解する</li> </ul>						
時間外での学修	毎回の授業が歯科衛生過程の一連の流れに沿って進んでいくため、次回の授業に未解決な内容が残らないように復習をしておいてください。						
受講学生へのメッセージ	歯科衛生士として、計画的で論理的なケア過程を実践できるよう、これまで学んできた知識を活用して積極的に授業に取り組んでください。オフィスアワーは研究室で木曜5限目です。						

【HA】地域歯科保健活動Ⅱ		歯科衛生学科		3年前期			
		1単位	必修	実習	45時間		
教員	久本 たき子・今井 藍子・藤澤 さち子						
資格・制限等	特になし						
実務家教員	久本：歯科医院・口腔保健センター歯科衛生士・6年 今井：歯科医院歯科衛生士・10年						
授業内容	この授業では、地域住民の日常生活をよりよい方向へ導くために必要な地域歯科健康教育の知識・技術を修得します。特に、地域歯科保健活動Ⅰで学習した内容を地域の小学校において実際に歯科健康教育を実施し、地域歯科保健活動について学びを深めていきます。また、2014年に「医療介護総合確保推進法」が可決され「地域包括ケアシステム」の構築が謳われています。そのシステムのなかで、地域における歯科衛生士の役割も検討していきます。						
授業方法	グループ演習・実習が中心となります。						
到達目標	知識・理解	1. 地域歯科健康教育実習の準備学習から、小学生に対する歯科保健指導の実施内容について説明する。 2. 地域包括ケアシステムにおける多職種連携と歯科衛生士の役割について考える。			◎		
	技能	集団へのブラッシング指導技術とプレゼンテーション力を身につける。			○		
	関心・意欲・態度	医療人としての身だしなみを整え、自己管理ができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		65	-	-	-	65
	実技試験		-	-	10	-	10
	グループ発表		-	-	5	-	5
	小テスト		5	-	-	-	5
	受講態度		-	-	-	15	15
合計(点)		70	-	15	15	100	
評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	『新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社(8,208円)ISBN:978-4-263-42826-9 『最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社(6,048円)ISBN:978-4-263-42838-2						
参考書・教材	必要に応じ、プリントを配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	地域歯科健康教育演習① 教育目標・教育内容に沿った原稿と媒体であるかを確認する。 地域における歯科健康教育を行なう場合の注意点について説明する。 [準備・課題]地域における歯科健康教育を行なう場合の注意点について復習する。(0.5h)						
2	地域歯科健康教育演習② 地域における歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意しながら、練習する。 [準備・課題]授業で練習した内容で技術的に不足している項目を復習する。(0.5h)						
3	地域歯科健康教育演習③ 地域における歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意しながら、練習する。 [準備・課題]授業で練習した内容で技術的に不足している項目を復習する。(0.5h)						
4	地域歯科健康教育演習④ 地域における歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意しながら、グループ発表をする。 *担当教員のチェック *実習先小学校教諭との事前打合せ会用の計画書を作成する。 [準備・課題]担当教員による指導項目について復習し、プレゼンテーション力を向上する。(0.5h)						
5	地域歯科健康教育演習⑤ 地域歯科健康教育を行なう場合の注意点に留意しながら、予行演習に向けて仕上げをする。 *担当教員のチェック [準備・課題]担当教員による指導項目について復習する。(1h)						
6	地域歯科健康教育予行演習① 地域歯科健康教育演習①～⑤の準備・課題について確認する。 予行演習①：現場を想定して予行演習を行なう。また、ブラッシング指導(集団指導)の実技試験で教員の前で発表する。 [準備・課題]担当教員による指導項目について復習する。(1h)						
7	地域歯科健康教育予行演習② 予行演習②：現場を想定して予行演習を行なう。 *学内発表 *実習先小学校教諭との事前打合せ会の実施(リーダー・サブリーダー) [準備・課題]予行演習の内容に関する担当教員からの指導項目を復習する。(1h)						
8	地域歯科健康教育予行演習③ 予行演習③：現場を想定して予行演習を行なう。 *担当教員の最終チェック *実習先小学校教諭との事前打合せでの内容を班員に申し送る。 [準備・課題]現場を想定した予行演習の内容に関する担当教員からの指導項目を復習する。(1h)						
9	地域歯科健康教育予行演習④ 予行演習④：改善点を確認し現場を想定した予行演習と準備物の最終確認を行なう。 *担当教員の確認チェック [準備・課題]現場を想定した予行演習の内容に関して担当教員による指導項目を復習する。(1h)						
10	グループワーク：地域包括ケアシステムにおける多職種連携について学び、グループ学習を行う。グループ学習では、歯科衛生士の役割を討論しグループ毎に発表を行う。また、次回の2.3年生合同グループ発表の練習と資料作成を行なう。 *担当教員のチェック [準備・課題]次回の発表原稿を復習し、役割分担を確認する。(1h)						
11	学内発表 小学校歯科健康教育実習におけるグループ発表を学内で再現し、集団指導における注意事項等2年生に申し送りをする。 [準備・課題]次回実施される小テストの準備学習を行う。(1h)						
12	第10回で行われたグループワークの内容について小テストを受け、知識の確認を行う。 地域歯科保健活動Ⅱの総括として、授業内容の要点を確認する。 [準備・課題]これまでの地域歯科保健活動Ⅱを受講した学びについて、知識の整理をする。(1h)						
時間外での学修	定められた授業時間では上達しないので、授業時間外での個人練習も必要です。積極的に練習を積み重ねていってください。						

受講学生への メッセージ	グループ活動が中心となるため、グループ内の協力が重要となります。授業には積極的に参加し、自らの知識・技術の向上を目指すことを期待しています。 オフィスアワーは、久本：木曜日5時限、研究室（G304：G号館3F）今井：木曜日5時限（G404：G号館4F） 藤澤：火曜日5時限、研究室（G405：G号館4F）です。
-----------------	---

【HA】 審美歯科		歯科衛生学科		3年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	水嶋 広美						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	近年、口腔の美しさへの要望が高まり、歯科衛生士の臨床においても健康の回復・維持のみならず、審美性への配慮が強く求められている。この授業では、診療補助の精度の向上や、基本的な治療技術あるいは器材に関する知識などに焦点を向け、審美歯科領域における歯科衛生士の役割の重要性について学んでいく。						
授業方法	講義にて知識や手技の要領を理解し、実習を中心に行っていきます。審美歯科専門医をゲストに実践的な実習も入れながら、ホワイトニングの技術、知識を身につけていきます。						
到達目標	知識・理解	1. 審美歯科領域における、歯科衛生士の役割について述べる。 2. 口腔筋機能療法の活用と効果を理解し、その訓練法を説明しながら実施する。 3. 矯正歯科、インプラント治療における審美歯科としての役割について述べる。 4. ホワイトニングの種類とその適応、使用器材を説明する。 5. ホワイトニングの前準備からアフターケアまでの手順を理解し説明、実施する。			◎		
	技能	ホームホワイトニングに使用する、カスタムトレーの制作方法に取り組むことができる。			◎		
	関心・意欲・態度	実習ごとに課題レポート作成に取り組むことで、審美歯科について関心を持ち、積極的学修に取り組むことができる。			△		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		60	-	-	-	60
	レポート課題		-	-	20	-	20
	製作物		-	-	10	-	10
	履修カルテ		-	-	-	10	10
合計(点)		60	-	30	10	100	
評価の特記事項	筆記試験、受講態度、課題レポート内容、提出状況もふくめて総合的に評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生に単位を与えません。						
テキスト	『歯科衛生士ベーシックスタンダードホワイトニング』金子潤 北原信也 宮路真至 医歯薬出版株式会社 (3,240円) ISBN:978-4-263-42180-2 『最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正』医歯薬出版株式会社 ※2年次に購入済(3,240円) ISBN:978-4-263-42825-2 『最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴』医歯薬出版株式会社 ※2年次に購入済(3,240円) ISBN:978-4-263-42822-1 『最新 歯科衛生士教本 歯科機器』医歯薬出版株式会社 ※2年次に購入済(3,240円) ISBN:978-4-263-42850-4						
参考書・教材	その他資料は適宜、配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	審美歯科領域における歯科衛生士の役割(矯正治療時の補助・介助 口腔筋機能療法の種類と方法) [準備・課題]矯正器具の名称と用途・口腔筋機能療法について内容を復習してまとめる(2h)						
2	ホワイトニングについて(ホワイトニングの種類と基礎知識について) ホワイトコート知識、手順を学び、実際に実習を行う。 [準備・課題]ホワイトニングの種類、手順、薬剤・器材の取り扱いを復習してまとめる(2h)						
3	ホワイトニングに必要な作業用模型の作製(使用するトレーを作製するための模型作製の相互実習) [準備・課題]ホワイトニングに必要な作業用模型の作製手順を復習してまとめる(2h)						
4	ホワイトニングのメカニズム、手順、ホワイトニング後の評価と指導について学ぶ。(1回～3回の課題の確認) ホームホワイトニングについて(ホームホワイトニングの前準備と手順、マウストレー作製について実習)矯正器具の取り扱いについて、実習を行う。 [準備・課題]ホームホワイトニング、矯正器具の使用方法について復習してまとめる(2h)						
5	ホワイトニング実践(外部講師) 歯の色の測定法、オフィスホワイトニング・ホームホワイトニングの実践と使用器材とその手順について [準備・課題]ホワイトニングで実習内容を復習してまとめる(2h)						
6	審美歯科領域におけるメンテナンスⅠ 審美性を維持・向上させるためのハイジニストワークの重要性について [準備・課題]審美性を維持・向上させるためのハイジニストワークについて復習してまとめる(2h)						
7	審美歯科領域におけるメンテナンスⅡ 審美歯科と歯科衛生士(知覚過敏の対処法、歯科矯正、インプラント、修復物と歯科衛生士の役割) [準備・課題]審美歯科と歯科衛生士の役割について復習してまとめる(2h)						
8	審美歯科まとめ(5回～7回の課題の確認) [準備・課題]授業で学んだ全体の内容について総合的なまとめと復習する(2h)						
時間外での学修	授業の各回での課題の内容を確実に学修しましょう。レポートについては、内容の不備、誤字脱字のないようにしてください。						
受講学生へのメッセージ	外部講師の方の授業もあります。積極的な受講態度と授業のマナーを守った態度で受講してください。オフィスアワーは、研究室(G306:G号館3F)で毎週木曜日の16:20から17:00です。						

【HA】臨床・臨地実習Ⅱ		歯科衛生学科		3年前期			
		7単位	必修	実習	315時間		
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・川島 智子・藤澤 さち子						
資格・制限等	未修得科目数による制限有り						
実務家教員							
授業内容	知識や技術を臨床の場で展開しつつあらゆる場面で応用できる能力が備わるように、各実習施設における実習を行う。さらに、実習施設によっては、他職種への理解を深め、歯科衛生士との関わりについても学ぶ。実習施設は、歯科医院、保健センター、小学校、高等学校、高齢者通所施設である。						
授業方法	学外の各実習施設にて実習を行う。						
到達目標	知識・理解	地域の健康支援に関わる歯科衛生士の役割を述べ、専門的知識を修得する。			◎		
	技能	症例に応じた器材を準備し歯科診療の介助を行い感染予防を実践し、対象に合わせた歯科保健指導を実施する。			◎		
	関心・意欲・態度	1. 医療人として日常の自己管理に心がけ、主体的な学びから職業的使命感をもつことができる。 2. 毎月の臨床実習における学びと反省について自己評価を行い、担当教員に提出する。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実習日誌		30	-	-	-	30
	各臨床実習施設の評価		-	-	50	-	50
	受講態度		-	-	-	15	15
	毎月の自己評価表提出率		-	-	-	5	5
合計(点)		30	-	50	20	100	
評価の特記事項	欠席・遅刻・早退は、減点し、補充を必ず課します。						
テキスト	実習日誌の作成には、1, 2年生時に購入したテキストが必要になります。						
参考書・教材	特にありません。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	<p>&lt;第1週～第15週&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床実習ガイダンス・臨地実習ガイダンスを受ける。</li> <li>実習施設は以下の通りである。</li> <li>歯科医院における実習</li> <li>保健センターにおける実習</li> <li>小学校における実習</li> <li>高等学校における実習</li> <li>高齢者通所施設における実習</li> <li>公衆衛生活動実習</li> </ul>						
時間外での学修	実習日誌の作成においては、専門用語を使用した内容で記述するようにします。常に教科書等で確認し、記述内容を知識として修得してください。毎月、学外実習に対する自己評価を自己評価表に記入し短大に提出します。自己の振り返りから、成長できるようにしましょう。手技・操作の未熟な点は、登校時に時間を有効活用し確実にしてください。また、保健センター実習や高齢者通所施設実習では、事前に他職種の業務について理解を深めておくようにします。						
受講学生へのメッセージ	歯科医院実習では、必ず1週間の行動目標を立て、その目標達成のために努力を惜しまず、積極的に実習に臨みましょう。常に実習生としての自覚ある行動をしてください。オフィスアワーは、各担当教員の時間帯になります。						

【HA】臨床・臨地実習Ⅲ		歯科衛生学科		3年後期			
		6単位	必修	実習	270時間		
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・川島 智子・藤澤 さち子						
資格・制限等	未修得科目数による制限有り						
実務家教員							
授業内容	修得した臨床歯科医学を基に歯科衛生士として、より実践的な知識、技術、態度を身につけるよう各実習施設における実習を行う。また、総合病院での実習に関しては、他職種への理解を深め、総合病院における歯科衛生士の役割について学び、一般歯科医院との相違点について理解する。実習施設は、歯科医院、総合病院、介護老人福祉施設、特別支援学校等 専修クラスにより異なる。						
授業方法	学外の各指定の実習施設にて実習する。						
到達目標	知識・理解	全身疾患の有無や生活習慣等の情報収集により、患者の問題点を抽出しその解決法について述べる。また歯科医院で起こる偶発事故の原因と対処法を述べる。			◎		
	技能	患者の安全に配慮した共同動作を実施し、症例に応じた器材を準備し、歯科診療の介助を行う。また、1年間の臨床実習の学びと反省点を報告し、次年度生に臨床実習の心構えを伝え、コミュニケーション能力を身につける。			◎		
	関心・意欲・態度	医療人として、日常の自己の管理ができ、職業的使命感を持つことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実習日誌・レポート		35	-	-	-	35
	実習施設からの評価		-	-	40	-	40
	実習報告発表		-	-	5	-	5
	受講態度		-	-	-	20	20
合計(点)		35	-	45	20	100	
評価の特記事項	欠席・遅刻・早退は減点し、補充を必ず課します。						
テキスト	レポートや日誌の作成には、1, 2年生時に購入したテキストが必要になります。						
参考書・教材	特にありません。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	第1週～第8週 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設ガイダンス 各専修クラス、総合病院、保健センターのガイダンスを受ける。</li> <li>・各専修クラスでは、毎週登校時、事前学習・事後学習を受ける。</li> <li>・総合病院専修クラス指定病院にて実習する。</li> <li>・専門的口腔ケア専修クラス指定施設にて実習する。</li> <li>・審美歯科専修クラス指定歯科医院にて実習する。</li> <li>・総合歯科専修クラス指定歯科医院にて実習する。</li> </ul>						
時間外での学修	日誌や指示されたレポート作成は、専門性のある記述内容にするため必ず教科書等で確認し、記述内容が知識として修得するようにします。手技・操作で未熟な点は、登校時に積極的に自習して下さい。各実習施設における対象者の把握は、事前、事後にテキスト等で確認しておくようにすること。						
受講学生へのメッセージ	I・II期に修得できなかった実習項目は、学生生活最終の実習になるので積極的に臨んで下さい。どの実習施設でも、チームの一員としての判断力や行動力を養える努力をしましょう。オフィスアワーは、各担当教員の時間帯になります。						

【HA】臨床・臨地実習Ⅴ		歯科衛生学科		3年前期			
		1単位	選択必修	実習	45時間		
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・川島 智子・藤澤 さち子						
資格・制限等	未修得科目数による制限有り						
実務家教員							
授業内容	総合病院の「歯科・口腔外科」における見学実習						
授業方法	総合病院の「歯科・口腔外科」において、口腔外科診療室を中心として見学実習を行う。						
到達目標	知識・理解	1. 有病患者に対する知識を備え、口腔外科の施術方法を列挙しその施術に必要な器具、器材の用途を述べる。 2. 感染予防に対する知識及び対処法や器具の消毒・滅菌方法を理解する。			◎		
	関心・意欲・態度	医療人として日常の健康管理に心がけ、主体的な実習を行い自学自習ができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実習日誌		30	-	-	-	30
	実習施設評価		50	-	-	-	50
	受講態度		-	-	-	10	10
	レポート提出状況		-	-	-	10	10
合計(点)		80	-	-	20	100	
評価の特記事項	欠席・遅刻・早退は減点し、必ず補充を課します。						
テキスト	『顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔』医歯薬出版株式会社(3,672円) ISBN:978-4-263-42823-8 『臨床検査』医歯薬出版株式会社(2,376円) ISBN:978-4-263-42829-0						
参考書・教材	必要に応じ、1、2年生で購入したテキストを使用する。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	1. 総合病院実習前のオリエンテーションを受ける。 2. 総合病院の「歯科・口腔外科」で5日間の見学実習を行う。 3. 前のグループからの申し送り実習終了後のフィードバックを行う。						
時間外での学修	総合病院での見学実習です。実習生として、安全に臨めるように知識・技術の復習を必ず行いましょう。また、事前に課題レポートを作成し、知識を充実させて実習に臨んでください。						
受講学生へのメッセージ	学外実習は、理由を問わず欠席は認めません。欠席した日数は、必ず補います。各自健康管理には、十分気をつけてください。また、実習生という立場をわきまえて、謙虚な心と態度で実習に臨んでください。オフィスアワーは、各担当教員の時間帯になります。						

【HA】卒業研究		歯科衛生学科		3年前期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	海原 康孝・小原 勝						
資格・制限等	特になし						
実務家教員	海原：歯科医師（大学病院勤務）・27年 小原：歯科医師（大学病院勤務）・15年						
授業内容	歯科衛生士として広い視野を持つためには、常に課題探求能力の養成が求められる。自ら学ぶべき課題に対し、科学的に分析された情報をもとに研究する能力を修得する事を目的とする。選択したテーマについて、教員の指導のもとに研究計画を立案し、研究を遂行する。成果を卒業研究発表会にてプレゼンテーションするとともに、卒業研究報告書を作成し、専門的な知識や技術等を身につけることを目的とする。						
授業方法	調査・研究の授業なので、図書館等にてテーマ選定や情報収集のため文献検索を行う。データの分析、処理はコンピューター室を使用し行う。研究成果をまとめ、プレゼンテーションを行う。						
到達目標	知識・理解	研究の目的、情報収集、文献検索、テーマ選択と卒業研究に関連する課題について、基本的な知識を理解できる。			◎		
	思考・判断・表現	共同研究者とともに系統立てた計画に基づき、調査・研究に挑み、試行錯誤しながら課題の解決に向け、プレゼンテーションの場において、その成果を表現することができる。			○		
	技能	研究データの処理・分析、その結果を課題解決に結びつけて判断し活用することができる。			○		
	関心・意欲・態度	プレゼンテーション用の資料を積極的に学修しながら作成し、発表・質疑応答に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	報告書作成		40	-	-	-	40
	発表（表現）		-	20	-	-	20
	発表（技能）		-	-	20	-	20
	受講態度		-	-	-	20	20
合計(点)		40	20	20	20	100	
評価の特記事項	欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	なし						
参考書・教材	自分が選択したテーマにそって、図書館等で文献検索をして情報収集を行う。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	研究テーマについて考える。 〔準備・課題〕卒業研究の目的について理解し、図書館、パソコン等で文献検索を行い、興味ある研究テーマをいくつか選択し、まとめる。(3~5h)						
2	研究テーマを決定する。 〔準備・課題〕文献検索により情報収集を重ね、それを基に研究テーマを決定し、まとめる。(3~5h)						
3	研究計画を検討し策定する。 〔準備・課題〕研究テーマに基づき、対象、方法、結果の予測について検討し、計画を立てる。(2~5h)						
4	研究計画を最終的に策定する。 〔準備・課題〕調査対象・方法において、具体的に調査用紙等を作成しデータ収集のための準備をする。(3~6h)						
5	研究テーマを基に、研究データの収集を行う。 〔準備・課題〕研究倫理に従い、インフォームド・コンセントのもと調査対象者等に対してデータ収集を実施する。(4h)						
6	1回~5回までの課題を確認する。 収集した研究データの整理を行い、まとめる。 〔準備・課題〕データの整理を行い、パソコンにデータの入力を行う。(2~4h)						
7	収集した研究データを分析し、まとめる。 〔準備・課題〕入力データに対して、統計学的処理を行い、データ分析を行う。(3~6h)						
8	前回に続き、研究データの分析を行い、まとめる。 〔準備・課題〕研究データ分析の結果をもとに、他文献と比較し様々な角度からの分析の必要性について検討する。(3h)						
9	分析結果を検討し、まとめる。 〔準備・課題〕データ分析の結果を、研究目的と照らし合わせながらまとめ、結論を導く。(3~6h)						
10	プレゼンテーション用資料の作成を行う。 〔準備・課題〕パワーポイントを使用し、研究目的、対象、方法等の資料作成を行う。(3~6h)						
11	6回~10回までの課題を確認する。 前回、作成した資料を基に検討し、プレゼンテーション用資料の完成に向けまとめる。 〔準備・課題〕パワーポイントを使用し、結果についてグラフや表などの資料作成を行う。(3~6h)						
12	プレゼンテーション用資料をまとめ、完成させる。 〔準備・課題〕パワーポイントを使用し発表全体の資料を完成させ、発表原稿を作成する。(3~6h)						
13	研究報告書の内容を検討し、報告書の作成を行う。 〔準備・課題〕緒言、対象、方法、結果について論文形式で報告書の作成を行う。(3~4h)						
14	前回作成した研究報告書を再度検討し、次回の完成に向けてまとめる。 〔準備・課題〕先行文献と比較検討して考察を行い、結論、参考文献に記載をする。(4h)						
15	11回~14回までの課題を確認する。 研究報告書について重ねて検討し、完成させる。 〔準備・課題〕研究報告書全体を見直し、内容、体裁ともに確認をして完成させる。(3~6h)						



時間外での学修	各回の卒業研究の課題に対して、図書館やパソコン等で文献検索や情報収集を行い、発表、報告書の作成に至るまでの準備学修をしてください。わからない点、疑問点は自ら調べ、解決への努力をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、研究室を訪ねてください。
受講学生へのメッセージ	将来、広い視野と課題解決能力を持った歯科衛生士となるために、自らが積極的に卒業研究に取り組んでください。また、質問して解決することも必要です。 オフィスアワーは研究室（海原G206、小原G205：G号館2F）で毎週木曜日の16:20～17:30です。

【HA】 歯科総合演習 I		歯科衛生学科		3年前期		
		1単位	必修	演習	30時間	
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・川島 智子・藤澤 さち子					
資格・制限等	未修得科目数による制限有り					
実務家教員	石川：歯科医師（大学病院勤務）20年 海原：歯科医師（大学病院勤務）27年					
授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる科目について、1年、2年時に学んだ事項を復習し総括する。また、問題演習などにより各科目への理解を深め、歯科衛生士国家試験に必要な知識を身につけるよう進める。なお、前期では専任教員全員が担当する科目を中心とした演習を行う。					
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。					
到達目標	知識・理解	1. これまで学習した口腔保健分野科目に関する内容を復習し、総括する。 2. 問題演習などにより、口腔保健分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。 3. 問題演習などにより、専門基礎・臨床歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、知識を高める。			◎	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	100	-	-	-	100
	合計(点)	100	-	-	-	100
評価の特記事項	3分の1以上欠席及び、課題未提出の学生には単位を与えません					
テキスト	『歯科衛生士のための主要3科+専門分野問題集 第3版』全国歯科衛生士教育協議会編集 一般社団法人口腔保健協会(3,240円) ISBN: ISBN:978-4-89605-344-9					
参考書・教材	各科目で使用したテキストを使用します。必要な資料は適宜配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	保存修復学についての重要事項を述べる。(担当：海原) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
2	歯内・歯周病学についての重要事項を述べる。(担当：海原) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
3	歯科補綴学についての重要事項を述べる。(担当：海原) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
4	歯科予防処置(1)：予防的歯石除去についての重要事項を述べる。(担当：今井) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
5	歯科予防処置(2)：う蝕予防処置などについての重要事項を述べる。(担当：阿尾) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
6	歯科矯正学についての重要事項を述べる。(担当：石川) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
7	小児歯科学についての重要事項を述べる。(担当：石川) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
8	1回～7回までの課題を確認する。 口腔外科学についての重要事項を述べる。(担当：小原) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
9	障がい者歯科学についての重要事項を述べる。(担当：海原) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
10	歯科診療補助(1)：臨床検査、保存・口腔外科の治療時についての重要事項を述べる。(担当：水嶋) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
11	歯科診療補助(2)：歯科材料の種類と取り扱いについての重要事項を述べる。(担当：飯岡) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
12	歯科診療補助(3)：感染症についての重要事項を述べる。(担当：藤澤) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
13	歯科保健指導(1)：保健指導の基礎についての重要事項を述べる。(担当：川島) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
14	歯科保健指導(2)：食事指導法、在宅訪問歯科指導に関する重要事項を述べる。(担当：久本) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
15	8回～14回までの課題を確認する。 高齢者歯科学についての重要事項を述べる。(担当：久本) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
時間外での学修	各授業で学んだ内容はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点があれば必ず担当教員に質問し、早期に解決するようにして下さい。また、決められた課題は必ず期限までに行い提出して下さい。					
受講学生へのメッセージ	歯科衛生士国家試験の対策のためには、できるだけ多くの問題に触れ、それらを繰り返し学習することが重要です。毎日学習に取り組む習慣を身につけて下さい。オフィスアワーは、各科目の先生方の時間になります。					

【HA】 歯科総合演習Ⅱ		歯科衛生学科		3年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・川島 智子・藤澤 さち子						
資格・制限等	未修得科目数による制限有り						
実務家教員	石川：歯科医師（大学病院勤務）20年 海原：歯科医師（大学病院勤務）27年						
授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる科目において1年、2年時に学んだ事項を復習し、総括するとともに、問題演習などによってそれぞれの科目への理解と応用力を深め、歯科衛生士国家試験に対応する知識を身につけるよう進める。 尚、後期においては専任教員および非常勤講師全員で歯科衛生士国家試験に関わる全科目の授業を行う。						
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。						
到達目標	知識・理解	1. 口腔保健分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し、総括する。 2. 問題演習などにより、口腔保健分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。 3. 専門基礎・臨床歯科医学分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し、総括する。 4. 問題演習などにより、専門基礎・臨床歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		100	-	-	-	100
	合計(点)		100	-	-	-	100
評価の特記事項	筆記試験の合格は、6割5分以上とします。欠席は減点とし3分の1以上欠席した学生は単位を与えません。						
テキスト	『徹底分析！年度別 歯科衛生士国家試験問題集』歯科衛生士国試問題研究会編 医歯薬出版 ※6月発行予定(3,780円) 『歯科衛生士のための主要3科+専門分野問題集 第3版』全国歯科衛生士教育協議会編 一般社団法人口腔保健協会(3,240円)ISBN:978-4-89605-344-9						
参考書・教材	1年、2年時において学んだ歯科衛生士国家試験に関わる全ての科目の歯科衛生士教本。必要な資料は適宜配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	解剖学、口腔外科・歯科麻酔学、生化学についての重要事項を述べる。(担当：小原) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
2	小児・矯正歯科学、病理学についての重要事項を述べる。(担当：石川) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
3	生理学(担当：中村)、口腔生理学(担当：糸尾)についての重要事項を述べる。 [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
4	微生物学についての重要事項を述べる。(担当：朝井) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
5	薬理学についての重要事項を述べる。(担当：坂井) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
6	口腔衛生学についての重要事項を述べる。(担当：塚本) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
7	衛生学・公衆衛生学、衛生行政社会福祉学についての重要事項を述べる。(担当：小原・北嶋) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
8	1回～7回までの課題を確認する。 歯科予防処置(1)：歯周病学、予防的歯石除去についての重要事項を述べる。(担当：今井) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
9	歯科予防処置(2)：う蝕予防処置などについての重要事項を述べる。(担当：阿尾) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
10	歯科臨床概論、保存修復学・歯内療法学・歯周病学、歯科補綴学、障がい者歯科についての重要事項を述べる。(担当：海原) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
11	歯科診療補助(1)：歯科衛生士概論、臨床検査、保存・口腔外科の治療時についての重要事項を述べる。(担当：水嶋) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
12	歯科診療補助(2)：歯科材料の種類と取り扱いについての重要事項を述べる。(担当：飯岡) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
13	歯科診療補助(3)：感染症についての重要事項を述べる。(担当：藤澤) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
14	歯科保健指導(1)：保健指導の基礎についての重要事項を述べる。(担当：川島) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
15	8回～14回までの課題を確認する。 歯科保健指導(2)：栄養学、高齢者歯科学、についての重要事項を述べる。(担当：久本) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
時間外での学修	各授業で学んだ事項はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点がある場合はオフィスアワー等を活用して担当教員を尋ね、早期に解決しましょう。夏期休暇直前に全員が購入する問題集(2冊)を夏期休暇中に自学自習し終えるようにしてください。						
受講学生へのメッセージ	国家試験に合格するために『テキスト』の項目に挙げた2冊の問題集を、夏期休暇中に計画を立て学修して下さい。問題に触れることでより理解するようにしてください。オフィスアワーは、各科目の先生方の時間になります。						

【HA】 歯科医学特講		歯科衛生学科		3年後期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・水嶋 広美・飯岡 美幸・川島 智子・藤澤 さち子					
資格・制限等	特になし					
実務家教員						
授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる歯科医学関連科目において1年、2年時に学んだ事項を復習し、総括するとともに、問題演習などによってそれぞれの科目への理解と応用力を深め、歯科衛生士国家試験に対応する知識をアクティブ・ラーニングを活用して身につけるよう進める。					
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。					
到達目標	知識・理解	1. 歯科医学分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し総括する。 2. 問題演習などにより、歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、歯科医学に関する知識を高める。			◎	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	課題プリント	100	-	-	-	100
	合計(点)	100	-	-	-	100
評価の特記事項	1/3以上の欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『歯科衛生士のための主要3科+専門分野問題集 第3版』全国歯科衛生士教育協会 一般社団法人口腔保健協会(3,240円) ISBN: ISBN:978-4-89605-344-9					
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
2	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
3	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
4	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
5	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
6	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
7	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。1-7回目までの課題の確認。 (担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
8	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川島) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
9	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川島) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
10	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川島) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
11	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川島) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
12	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川島) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
13	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川島) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
14	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川島) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
15	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。8-15回目までの課題の確認テストを実施。 (担当:石川・小原・海原・久本・川島) [準備・課題] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
時間外での学修	各授業で学んだ事項はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点がある場合はオフィスアワー等を活用して担当教員を尋ね、早期に解決しましょう。全員が購入する問題集に取り組み、繰り返し復習してください。					
受講学生へのメッセージ	国家試験に合格するために『テキスト』の項目に挙げた問題集について計画を立て学習して下さい。問題に触れることでより理解力するようにして下さい。オフィスアワーは、各科目の先生方の時間になります。					